

第2回 能登町総合計画審議会 議事概要

【日時】 平成17年12月20日(火) 9:30～11:30

【会場】 能登町役場能都庁舎3階 研修室

【出席者】 委員 紙谷 靖博 能登町社会福祉協議会理事 (五十音順、敬称略)

川口 喜久男 おおぞら農業協同組合理事

久保田 勝夫 公募による委員

新出 二三恵 能登町婦人団体協議会理事

杉本 一俊 小木漁業協同組合参事

高市 範幸 公募による委員

田谷 友美 能登町PTA連合会

中 與七郎 公募による委員

橋本 忠雄 能登町町会区長会連合会幹事

(欠席) 藤田 東洋昭 のと青年会議所監事

紅屋 國男 能登町観光協会理事

松原 利吉 内浦町商工会経営指導員

松本 博 教育委員会委員長

谷内 與三郎 のと森林組合参事

山崎 玲子 能登町民生委員児童委員協議会主任児童委員

策定委員会委員長

山元 淳二 能登町助役

事務局

坂口 良生 企画財政課長

滝上 雅之 企画財政課企画担当課長補佐

五田 秀綱 企画財政課企画調整係長

埴 正浩 株式会社 日本海コンサルタント

吉田 真由美 株式会社 日本海コンサルタント

【議事次第】 1. 開 会

2. 策定委員長挨拶

3. 報告事項

・今後の策定スケジュール(修正)

・能登町の未来を語る会結果

4. 協議事項

・基本構想(タタキ台)について

・将来人口の設定について

・アイデア募集について

5. その他

6. 閉 会

【議事要旨】

1．開会

坂口課長 ・ただ今より、第2回能登町総合計画審議会を開催します。

2．策定委員長挨拶

山元助役 ・お足元の悪い中、ご出席賜りましてありがとうございます。

・能登町では、昨日議会が終了した。能登町誕生から10カ月が経過し、10件程度のプロジェクトや検討委員会などが動き出している。この審議会では、それらすべての調整役を担っているの、よろしくお願ひしたい。

3．報告事項

松本会長 ・委員の皆さんは、前回の第1回審議会の後、それぞれいろんな会合に出られたり、事務局から事前に送られてきた資料をご覧になって、いろいろとご意見をお持ちだと思ふので、活発なご意見をよろしくお願ひしたい。

・では、事務局より経過報告をしていただく。

坂口課長 ・10/20の第1回審議会後の状況を説明する。

・第1回審議会後、同日に能登町の未来を語る会の最終回を開催し、全16地区で554名のご出席をいただいた。その後、10/27に第2回事務担当者会議、11/28に第3回事務担当者会議、12/7に第3回策定委員会を開催した。12月号の広報およびホームページで、アイデア募集をしている。

五田係長 ・報告事項2件について、資料を説明する。

・スケジュールについては、前回の審議会での意見を踏まえて修正した。修正したのは、審議会を6月頃に1回追加、会議結果を反映させるという意味の矢印を追加、町長から審議会への諮問・答申を明記した点である。

・能登町の未来を語る会の結果については、延べ377件のご意見やご提案が出された。（集計表を元に、意見の多かった分野等について説明）詳細は、各自でご覧いただきたい。

松本会長 ・スケジュールについて、ご意見はあるか。

委員 ・異議なし

松本会長 ・未来を語る会の結果について、いかがか。

委員A ・554名の出席者のうち、女性は92名ということだが、女性からの発言はどの程度あったか。女性ならではの視点として、特徴的なものがあれば教えてほしい。

五田係長 ・事務局資料としては発言者の性別を控えているが、女性の意見だけを抽出して整理はしていない。

坂口課長 ・女性の意見としては、身近な視点の発言が多かったように思う。また整理して報告したい。

委員A ・女性は、医療や福祉システム、公立病院の経営や金沢などの病院との連携など、安心して暮らせるまちづくりに関心が高いのではないかと思うが、どうだったか。

山元助役 ・女性の参加率は低く、発言についても消極的だった。司会から当てて発言していただくということもあり、発言は1会場に1名か2名程度だった。男女ということ

意識せず、男女共同参画を進めていく中で、女性の方に活躍していただける環境づくりが必要である。

- 委員 B
 - ・能登町の病院経営については難しい点があり、総合計画でどこまで触れられるかという面もあるが、これから皆さんのお知恵をいただきながら進めていきたい。
 - ・“語る会”というからには、町民からの意見に対する答弁もしたのだろうが、町としてどのような答弁をしたのか。
- 坂口課長
 - ・要望や苦情も多かったので、すぐに対応できることは各課に連絡して、順次対応するようにしている。すぐに対応できないようなご意見やご提案に対しては、予算づけを含めて、これから検討していく。
- 委員 C
 - ・事前に送っていただいた語る会の結果を読むと、“未来を語る会”と言いながら、提案というより苦情が多い。主旨がずれているのではないか。出席者の平均年齢が高く、若い方の意見があまり反映されていないのが残念である。
 - ・道路に対する意見が一番多いが、道路は十分に整備されている。もっと他にすべきことがあるはずである。良い意見もあるので、少しでも総合計画に反映してほしい。
- 山元助役
 - ・旧能都町では、町長が毎年各地区を周って話を伺う会があったが、他の地域ではこれまでになかった試みである。事務局からは、提案をお願いしますということを説明し、テーマも設定したが、会場によっては、提案ばかりのところもあれば、苦情ばかりのところもあった。
- 委員 D
 - ・スケジュールに関連して質問する。総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成されるということだが、スケジュールには実施計画は載っていない。どういうことか。
- 五田係長
 - ・地方自治法では、基本構想のみ議決が必要とされているが、能登町では、基本構想と基本計画を議決する予定であり、審議会では、基本計画までをご審議いただきたい。実施計画については、基本計画を踏まえて庁内で並行して検討し、議決後に策定することになる。
- 委員 D
 - ・能登町総合計画審議会条例の第 2 条では、「審議会は、町長の諮問に応じ、能登町総合計画の策定及びその実施に関し必要な事項の調査及び審議を行い、町長に答申する」とあるが。
- 滝上補佐
 - ・その“実施”とは、実施計画も審議会で審議するという意味ではない。実施も見越して、基本構想及び基本計画を審議いただきたい。実施計画は、財政とすりあわせながら、3年間のローリング方式で進めていく。
- 松本会長
 - ・まとめると、審議会の主たる目的は、基本計画の策定に関する審議までで、その実施については、議決後に、予算を含めて具体的な計画を策定し、進めていくということ。未来を語る会については、苦情も多いが、提案的な内容については、総合計画にできるだけ反映させていくということでもとめたい。他に問題はないか。
- 委員
 - ・異議なし

4. 協議事項

基本構想、将来人口の設定について

- 松本会長
 - ・協議事項のうち、基本構想タタキ台と将来人口について、事務局から資料を説明し

ていただく。

(事務局より資料説明)

- 委員 A
- ・基本構想タタキ台に書かれていることは、どれも大事なことではあるが、総花的とも言える。順序を考えていかなければならない。
 - ・その際、予算を伴うもの、住民のコンセンサスが必要なものは実施に時間がかかる。実施しやすいのは、予算はそれほどかからず、住民が納得しやすいものであり、提案の中には、すぐに取りかかれるものもあるはずである。
 - ・これからの時代は、“あれもこれも”とは言ってられない。構想の中で、“どれかこれか”ということを示し、どれの優先順位が高いのか町民が読み取れるようにしてほしい。
- 委員 D
- ・町として、どう収入を得るかが大事であり、そのためには、観光を主軸に置くべきと考える。外の人がどういうことに魅力を感じるのかを考えるべきである。
 - ・能登町には、自然・文化を活かした観光資源があり、各家庭で持っているものをプチミュージアムという形で展示してはどうか。大きな博物館を造るのではなく、小規模な展示施設を町内全域に散りばめて 50 箇所程度づくり、それを巡ってもらう。大きな 1 つの施設で 5 人雇うよりも、1 施設 1 人で 50 人雇えば、50 人が生きがいを持って働ける。この提案は、基本構想にある「5 つの大切にしていきたい要素」にもつながる。ぜひ「プチミュージアムの郷」として、7 つ目のプロジェクトに盛り込んでほしい。
- 松本会長
- ・具体的な事業の内容や、どういった施策に重点を置くかは、基本計画で出てくるかと思うが、基本構想全体として、まず新町建設計画に基づいたこういった形でよいか、議論してほしい。全体像としては、どれを書くというのは難しく、総花的にならざるを得ないと思うが、こういった形で進めてよいか。
- 委員
- ・異議なし
- 松本会長
- ・では、基本構想は、新町建設計画に基づく形で進めていくこととする。細かい点については、またご意見をいただきたい。基本計画に関する内容については、また今後ともご議論いただくこととして、プロジェクトに関する意見についてはどうか。
- 五田係長
- ・プチミュージアムを盛り込むかどうかは、本日すぐには返答できない。プロジェクトとして 1 本立てするというよりは、6 つのプロジェクトのいずれかに盛り込むということも含めて検討したい。
- 委員 A
- ・団塊の世代が大量に退職する 2007 年問題、2008 年問題というのがあるが、こういったことは、基本構想や将来人口の設定などには、考慮していくのか。
- 五田係長
- ・基本構想では、交流人口の増加や定住の促進といったことは盛り込んでいる。具体的な事業は、現在、各担当課で検討しているところであり、基本計画には、そのための取組みも出てくることになると思う。
- 委員 A
- ・団塊の世代をどういう切り口で捉えていくのか、考えがあれば聞きたい。
- 滝上補佐
- ・今、即答はできないが、本日のご意見を踏まえ、策定委員会や事務担当者会議で検討し、構想に反映していきたい。
- 山元助役
- ・基本構想タタキ台の 7 ページや 11 ページでも関連したことは書いている。能登町になってからの様々な場面で、問題提起もされている。具体的にどう盛り込んでい

くかは、これから詰めていきたい。

委員 C

- ・将来人口は、新町建設計画では目標を 20,000 人とし、現在のペースでいくと平成 27 年に 18,000 人程度になるということだが、人口減少は加速しており、私は 18,000 人よりもっと減ると思う。とにかく交流人口、滞在人口、定住人口を増やさないといけない。団塊の世代の退職後の暮らし方が注目されているが、どこの自治体でも取り合いであり、中途半端な取組みでは効果はない。
- ・空家のリフォームを行政が支援する、間伐材を利用して日曜大工をできる施設を設けるなど、思い切ったアイデアがないと、能登町に来てもらうのは難しい。
- ・能登町の既存の施設・資源を活かし、海のない県との交流を深めて、子どもや企業、団体を誘致するなど、身近なところから取り組んでいくべきである。
- ・キーポイントは人口である。人口がいなくて何も栄えない。交流人口の拡大に積極的に取り組むべきである。

松本会長

- ・将来人口については、現状のままの推移ではなく、努力目標も含めた設定をするという方向でよいか。

五田係長

- ・20,000 人という値は、新町建設計画で設定した平成 26 年の目標値であり、その後、さらに人口減少が進んでいることや、今回の総合計画では平成 27 年の人口を設定するということから、20,000 人を下回る値になると思われる。将来人口は本日決定しなくともよいが、総合計画策定のリミットを見据え、国勢調査の結果等を踏まえて検討していただきたい。

委員 E

- ・“人口問題 = まちづくり” という話が出ているが、能登町を維持するために必要な人口の限界値というのがあるのではないかと。これからの 10 年間を持ちこたえるための計画を作ろうとしているように思われるが、人口減少が進む中で、観点を改めて、能登町としては奥能登全体での広域合併を推し進める計画にするという考え方もありえるのではないかと。これは意見であり、答弁は結構である。

委員 F

- ・策定された計画は、住民に知らされるのか。
- ・構想の中身は、どこの町にも通じることが多く、能登町独自の光るものを感じられない。かと言って、どれも不可欠なことだということも確かである。ただ、これからの 10 年間、歯を食いしばって生きるためのまちづくりを考えるという点では、まずそこに住む人が快適であること、豊かであること、文化的な生活をするものの 3 つに集約される。課題に対してどう歯止めするかと言うことが重要なのではないかと。住む人が豊かで税金を落とさないと町は潤わない。産業振興が大事である。課題に対してどう取り組むかを構想に示すべきである。
- ・土地利用は、現状のことを書いているだけであり、住民が主体的になってほしいなら、行政としての方針を示すべきである。

五田係長

- ・計画の公表に関しては、概要版の配布やホームページへの掲載を予定している。

松本会長

- ・時間も来ているので、基本構想についての議論は以上とし、基本構想については、新町建設計画をベースにしていく、将来人口については、国勢調査の結果を踏まえて 20,000 人よりも下方修正するものの、現状のままの減少傾向よりも増えるための施策を計画の中に盛り込んでいくということでもとめたい。

アイデア募集について

- 松本会長 ・次に、アイデア募集についての協議に移る。事務局から資料を説明していただく。
- 五田係長 ・12月号の広報に掲載済みであり、住民参画の一つとして、今回取り入れたものである。評価委員を審議会委員より選出いただきたい。
- 松本会長 ・5名程度を選ぶということだが、どのように選ぶか。
- 委員G ・会長に一任する。
- 松本会長 ・事務局案はあるか。
- ・山元助役にも評価委員に入っていたらどうかと思うが。
- 委員 ・異議なし
- 松本会長 ・では、その他について、事務局案をお聞きしたい。
- 五田係長 ・松本会長には、評価委員長として入っていただきたい。その他は、特になし。
- 松本会長 ・では、私は評価委員にならせていただくので、他に、自薦、他薦をお願いしたい。
- 委員H ・特にどなたもいないということなら、自薦する。
- 委員I ・久保田委員を推薦する。
- 委員J ・橋本委員を推薦する。
- 委員E ・女性にも入っていただいた方がよい。
- 委員K ・田谷委員をお願いしたい。
- 松本会長 ・では、山元助役には特別枠として入っていただくこととし、久保田委員、田谷委員、中委員、橋本委員、私が評価委員となる。

5. その他

- 五田係長 ・アイデア募集は、12/28を締め切りとし、1/16(月)13:30より審査会を行う。
- ・次回、第3回審議会は、2月中旬に開催することとし、基本構想の修正、充実に ついての協議と、アイデア募集の結果を報告する。
- 委員A ・アイデアの審査だけでなく、審議会委員からもアイデアを提案してはどうか。審査の対象外としてもよいので、ぜひアイデアを出すこととしよう。
- 坂口課長 ・ぜひお願いしたい。

6. 閉会

- 松本会長 ・本日は、貴重なご意見をありがとうございました。将来の能登町に関する大きな問題であり、なかなか一度でまとまる話ではないが、皆様の貴重な意見を踏まえて、事務局の方でまた検討していただくとともに、委員の皆様にもまた次回までに、基本構想についてお考えいただきたい。

以上